

# CMX 10.5 & ; 以降のCLIでパスワードを回復する

## 内容

---

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[手順](#)

---

### はじめに

このドキュメントでは、CMX 10.5以上のユーザ名「root」および「cmxadmin」の失われたCLIパスワードを回復する手順について説明します。

### 前提条件

#### 要件

なし

#### 使用するコンポーネント

CMX 10.5 VM

### 手順

CMX 10.5以降は、次に示すようにCentOS 7で動作します。

```
[cmxadmin@glitz etc]$ cat /etc/centos-release
CentOS Linux release 7.4.1708 (Core)
[cmxadmin@glitz etc]$
```

この手順では、コンソールアクセスが必要です。導入で使用するアプライアンスのタイプに応じて、VMコンソールまたは物理コンソールを使用できます。

#### 手順 1

CMXサーバを再起動し、GRUBブート画面が表示されるまで待ちます。強調表示されたオプションを選択し（レスキューモード）、「e」を押して編集します。

```
CentOS Linux (0-rescue-3c33366f0026410bbe151a96588ab0a8) 7 (Core)
```

注:

CMX 10.6以降では、ユーザ名とパスワードの入力を求められた場合は、ユーザ名 : rootおよびパスワード : password (サーバに設定されたrootパスワードではありません) としてクレデンシャルを入力します。

手順 2

「linux16」で始まる行までスクロールダウンし、行の最後にある「rhgb quiet」パラメータを削除します。(最新バージョンでは、「rhgb quiet rd.shell = 0」にすることができます)。

```
insmod ext2
set root='hd0,msdos1'
if [ x$feature_platform_search_hint = xy ]; then
    search --no-floppy --fs-uuid --set=root --hint-bios=hd0,msdos1 --hin\
t-efi=hd0,msdos1 --hint-baremetal=ahci0,msdos1 --hint='hd0,msdos1' cade620e-a\
f0d-4dd6-8f4e-d64538b2ee7f
else
    search --no-floppy --fs-uuid --set=root cade620e-af0d-4dd6-8f4e-d645\
38b2ee7f
fi
linux16 /vmlinuz-0-rescue-3c33366f0026410bbe151a96588ab0a8 root=/dev/M\
apper/vg_cmh-lv_root no crashkernel=auto rd.lvm.lv=vg_cmh/lv_root rd.lvm.lv=vg\
_cmh/lv_swap rhgb quiet
initrd0 /initramfs-0-rescue-3c33366f0026410bbe151a96588ab0a8.img

Press Ctrl-x to start, Ctrl-c for a command prompt or Escape to
discard edits and return to the menu. Pressing Tab lists
possible completions.
```

手順 3

ステップ2でパラメータを削除した後、同じ行にオプション「rd.break enforcing=0」を追加しま

```
linux16 /vmlinuz-0-rescue-3c33366f0026410bbe151a96588ab0a8 root=/dev/M\
apper/vg_cmh-lv_root no crashkernel=auto rd.lvm.lv=vg_cmh/lv_root rd.lvm.lv=vg\
_cmh/lv_swap rd.break enforcing=0
initrd0 /initramfs-0-rescue-3c33366f0026410bbe151a96588ab0a8.img
```

手順 4

完了したら、Ctrlキーを押した状態でXキーを押してシステムをロードし、緊急モードで起動します。新しいプロンプトが表示されます。

```
Generating "/run/initramfs/rdsosreport.txt"
Entering emergency mode. Exit the shell to continue.
Type "journalctl" to view system logs.
You might want to save "/run/initramfs/rdsosreport.txt" to a USB stick or /boot
after mounting them and attach it to a bug report.

switch_root:/# [ 109.864205] random: crng init done

switch_root:/#
switch_root:/#
switch_root:/#
```

#### 手順 5

次のコマンドを使用して、ファイル・システムを再マウントし、書き込み可能にします。読み取り専用でマウントするためです。

```
mount -o remount, rw /sysroot
```

```
switch_root:/#
switch_root:/#
switch_root:/# mount -o remount, rw /sysroot
[ 242.510242] EXT4-fs (dm-0): re-mounted. Opts: (null)
switch_root:/#
switch_root:/#
```

#### 手順 6

次に示すようにファイルシステムのルートを変更します。完了すると、プロンプトが変わります。

```
chroot /sysroot
```

#### ステップ7

passwd <username>コマンドを使用してパスワードを変更します。次の例では、cmxadminとrootの両方のユーザ名のパスワードが変更されています。

```
sh-4.2#  
sh-4.2# passwd cmxadmin  
Changing password for user cmxadmin.  
New password:  
Retype new password:  
passwd: all authentication tokens updated successfully.  
sh-4.2#  
sh-4.2#  
sh-4.2#  
sh-4.2# passwd root  
Changing password for user root.  
New password:  
Retype new password:  
passwd: all authentication tokens updated successfully.  
sh-4.2#
```

#### 手順 8

次のコマンドを使用して、ファイル・システムを読み取り専用として再マウントします。

```
mount -o remount, ro /
```

```
sh-4.2#  
sh-4.2# mount -o remount,ro /  
[ 960.330623] EXT4-fs (dm-0): re-mounted. Opts: (null)  
sh-4.2#  
sh-4.2#
```

#### 手順 9

「[exit](#)」を2回入力してCMXログインメニューに移動します。

これで、新しいクレデンシャルでログインできるようになります

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。